

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

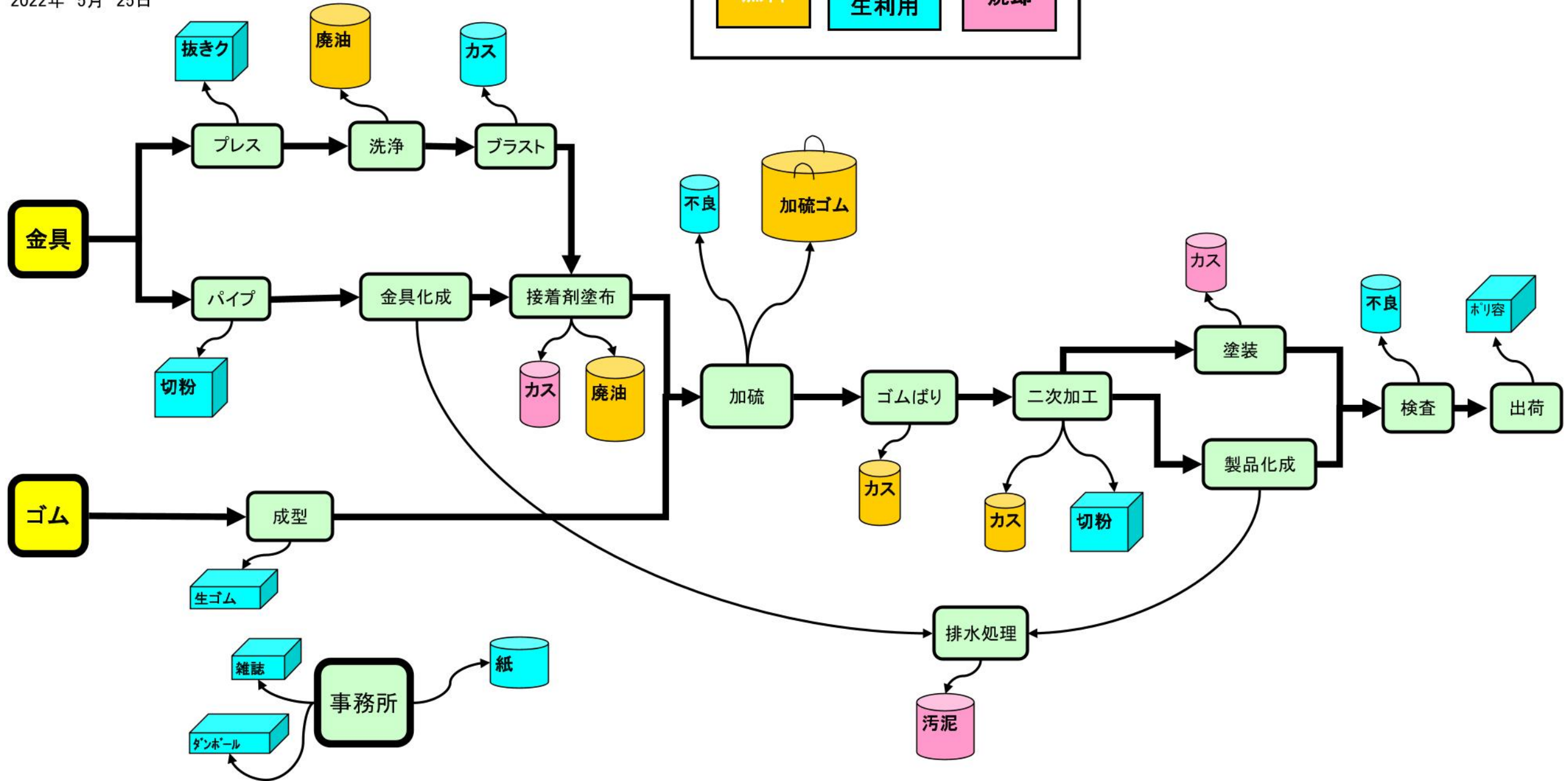
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		2022年 5月 26日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者 ブリヂストーンエラストック (株)		
住所 静岡県掛川市千浜4560番地		
氏名 代表取締役 荻島 厚		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0537-72-2655		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	ブリヂストーンエラストック (株)	
事業場の所在地	静岡県掛川市千浜4560番地	
計画期間	令和4年4月～令和3年3月	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	2333 工業用ゴム製品製造業	
② 事業の規模	2021年度売上高 213億円	
③ 従業員数	1,057名(2022年3月時点)	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工場から排出される廃棄物は、工場内のリサイクルセンター・特管産廃置き場・屋外貯蔵場に持ち込まれ78種類に分別する。産業廃棄物は全量産業廃棄物収集・運搬業者に依頼し、中間・最終処分業者に運ばれ処分される。廃棄物の発生フローと処分の詳細は別紙-1参照。	

(日本工業規格 A列4番)

# 別紙-1 廃棄物の発生と処分のフロー

2022年 5月 25日



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理体制図は別紙-2参照

責任者		
総括責任者	代表取締役社長	荻島 厚
環境管理責任者	安全・防災・環境管理部長	森 和弘
廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
特別管理産業廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
廃棄物担当の役割と責任者		
廃棄物処理手順書の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
教育・訓練	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
共通廃棄物置き場の廃棄物回収	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の計量	各 課	持ち込み者
委託処理契約の締結	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の委託、マニフェスト管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
処理業者の視察	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の集計、分析	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
ゴムリサイクル施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理計画の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
監督官庁への報告	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物情報の処理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和2年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶	汚泥
排出量	0.48t	490t

(これまでに実施した取組)

毎月の排出量を監視し、その要因について分析している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
排出量	0.48t	490t

(今後実施する予定の取組)

- 1)新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずは2021年同等を目指す。
- 2)新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、汚泥は2021年同等を目指す。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

法定分類における9種類の廃棄物を78種類に社内分別し、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルに移行するよう取り組んでいる。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現在マテリアルリサイクルしている廃プラスチック(社内呼称スクラップゴム)に加え、他の廃棄物の移行を念頭に業者の検討を行う。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理体制図は別紙-2参照

責任者		
総括責任者	代表取締役社長	荻島 厚
環境管理責任者	安全・防災・環境管理部長	森 和弘
廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
特別管理産業廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
廃棄物担当の役割と責任者		
廃棄物処理手順書の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
教育・訓練	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
共通廃棄物置き場の廃棄物回収	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の計量	各 課	持ち込み者
委託処理契約の締結	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の委託、マニフェスト管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
処理業者の視察	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物量の集計、分析	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
ゴムリサイクル施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理計画の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
監督官庁への報告	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物情報の処理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック
	排出量	82.8t	977t
	(これまでに実施した取組)  1) 毎月の排出量の監視、要因分析実施。 2) 削減活動実施。82.882.8977490		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック
	排出量	82t	977t
	(今後実施する予定の取組)  1) 新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、廃アルカリは2021年同等以下を目指す。 2) 新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、廃プラは2021年同等以下を目指す。また有価物化検討をすすめる。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理体制図は別紙-2参照

責任者		
総括責任者	代表取締役社長	荻島 厚
環境管理責任者	安全・防災・環境管理部長	森 和弘
廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
特別管理産業廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
廃棄物担当の役割と責任者		
廃棄物処理手順書の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
教育・訓練	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
共通廃棄物置き場の廃棄物回収	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の計量	各 課	持ち込み者
委託処理契約の締結	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の委託、マニフェスト管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
処理業者の視察	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物量の集計、分析	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
ゴムリサイクル施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理計画の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
監督官庁への報告	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物情報の処理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	排出量	87t	36.3t
	(これまでに実施した取組) 1) 毎月の排出量の監視、要因分析実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	排出量	87t	36t
	(今後実施する予定の取組) 1) 新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、廃油は2021年同等以下を目指す。 2) 新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、木くずは2021年同等以下を目指す。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理体制図は別紙-2参照

責任者		
総括責任者	代表取締役社長	荻島 厚
環境管理責任者	安全・防災・環境管理部長	森 和弘
廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
特別管理産業廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
廃棄物担当の役割と責任者		
廃棄物処理手順書の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
教育・訓練	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
共通廃棄物置き場の廃棄物回収	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の計量	各 課	持ち込み者
委託処理契約の締結	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の委託、マニフェスト管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
処理業者の視察	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物量の集計、分析	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
ゴムリサイクル施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理計画の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
監督官庁への報告	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物情報の処理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	電池類	蛍光灯
	排 出 量	0.126t	0.214
	(これまでに実施した取組)  毎月の排出量の監視、要因分析		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	電池類	蛍光灯
	排 出 量	0.120t	0.200t
	(今後実施する予定の取組)  生産不透明の環境下、昨年同等以下とする。LED化を進め、蛍光灯の交換サイクルの減少を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理体制図は別紙-2参照

責任者		
総括責任者	代表取締役社長	荻島 厚
環境管理責任者	安全・防災・環境管理部長	森 和弘
廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
特別管理産業廃棄物管理責任者	安全・防災・環境管理課	小関 潤
廃棄物担当の役割と責任者		
廃棄物処理手順書の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
教育・訓練	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
共通廃棄物置き場の廃棄物回収	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の計量	各 課	持ち込み者
委託処理契約の締結	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物の委託、マニフェスト管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
処理業者の視察	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物量の集計、分析	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
ゴムリサイクル施設管理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物処理計画の作成	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
監督官庁への報告	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹
廃棄物情報の処理	安全・防災・環境管理課	鈴木 桂樹

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和元年度）実績】

産業廃棄物の種類 安定型混合廃棄物

排 出 量 25.0t

(これまでに実施した取組)

毎月の排出量の監視、要因分析

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類 安定型混合廃棄物

排 出 量 24.5t

(今後実施する予定の取組)

新型コロナウイルスの影響により、生産不透明の環境下、昨年同等以下を目指す。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

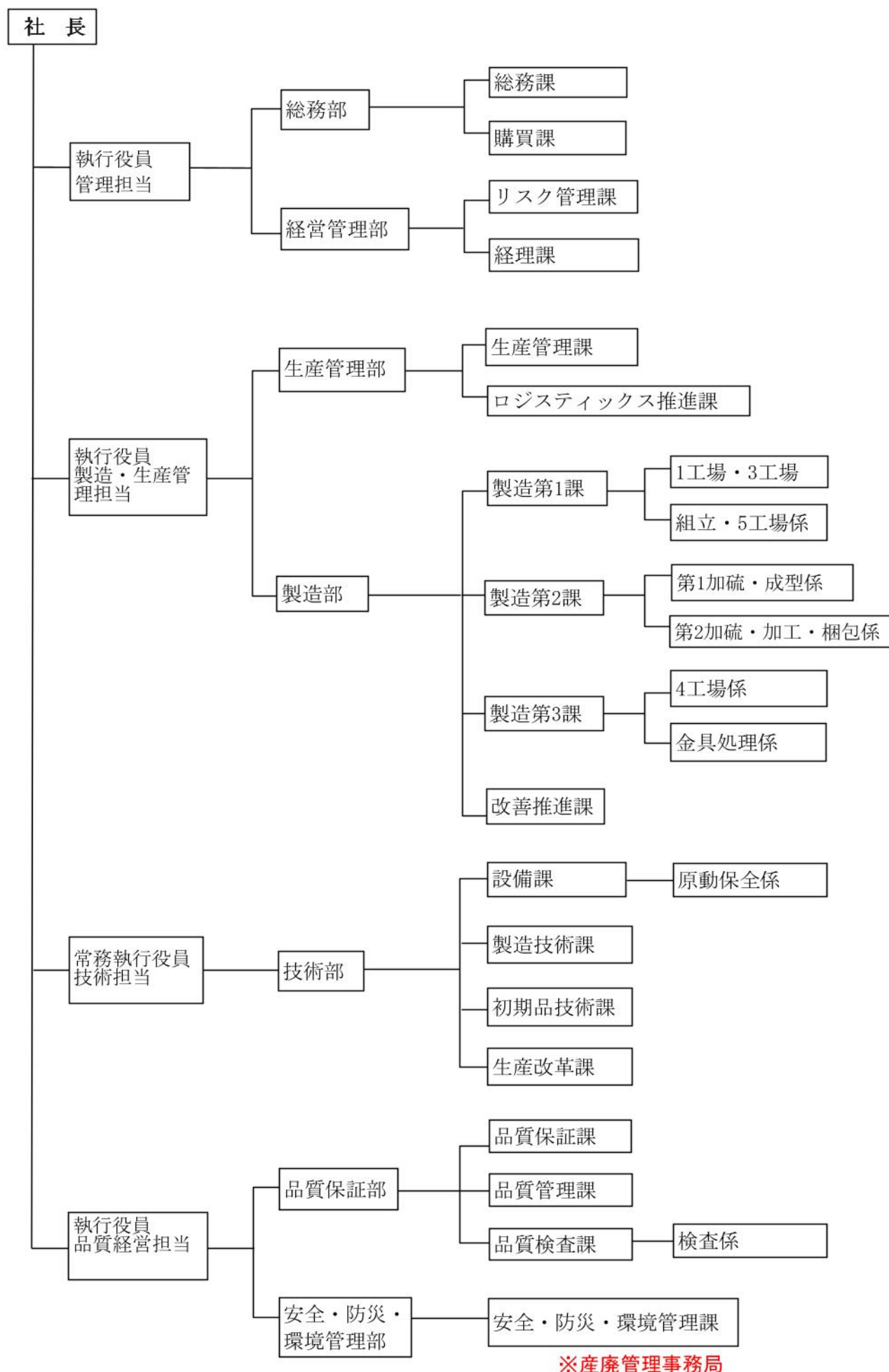
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

# 別紙-2 管理体制図

2021年 6月 10日





自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) -		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) -		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) -		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	<b>別紙-3の通り</b>		
(これまでに実施した取組)			
1) 毎月の排出量の監視、要因調査を行っている。 2) 削減活動・有価物化検討実施。			



	②計画	<p>【目標】</p> <div data-bbox="535 451 1740 1113" style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><h2>別紙-4の通り</h2></div> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 産業廃棄物の排出量削減を行う。</li><li>2) 優良認定処理業者との取引拡大検討を行う</li></ol>
※事務処理欄		



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。  
「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。  
20  
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。  
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。  
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。